

コロナに負けるな

宇都宮市の生活はどうだんべ？ 多文化共生フォーラム 特別編

ピーター・F・スミス氏 (アメリカ合衆国)

Q1 宇都宮は暮らしやすいまちですか？

【人との関わり】

栃木県民はシャイな方が多いので友達になるまで時間がかかるかもしれません。私
の場合は自分からかなり積極的に友達を作ろうとしました。一度、友達が一人できると
その後は雪だるま式に増えていきます。宇都宮はいろいろなグループに入りやすい
ので、グループに入った流れで人との付き合いが発展していくことが多いです。

【環境】

宇都宮市は田舎と都会の要素がよくバランスが取れていると思います。自然が近く
にあるのは大きな魅力だと思います。男体山と他の山が街から見えて、山に囲まれて
いるのは守られているような感じで安心します。残念なのは、近所の公園が少なく、
一般の方がスポーツできる場所が少ないことです。

【交通】

LRT ができるとバスも同じ切符で一定の時間内に乗り換え可能なシステムに変わ
り、シームレスな回遊性のある宇都宮になると思います。今のバスは外国人にとっ
て、少し使いにくいと思います。バス乗り場や行き先等の日本語が読めなければ利用
できません。幸いなことに駅から歩ける範囲内におもしろい場所がたくさんあるので、
歩きで宇都宮を満喫できます。

【飲食店】

アメリカのシアトルに住んでいたことがあるのですが、そこはチェーン店が多く、
同じサービスや味で変わりがなくてつまらなかったのに比べ、宇都宮では家族で経営
している美味しいお店が多く、お店の方との会話や旬の食材を楽しめるのがいいとこ
ろです。また、昔の日本を感じられるお店を探すのが楽しいです。

Q2 コロナ禍において生活にどのような影響がありましたか？

【仕事】

まず、働き方が変わりました。英語の講師なので対面授業はとても重要でした。コ
ロナ禍でオンライン授業になりましたが、いろいろな問題点があります。学生は技術
面や経済面でも同じではなく、テクノロジーの格差があります。例えば、パソコンを
持っている学生やスマホしか持っていない学生がいます。教える側は学生の顔を見る

ことができないので、授業の内容を理解しているかがわかりません。コミュニケーションはマンツーマンで成り立っていることをつくづく痛感しました。

【交友関係】

交友関係がずいぶん狭くなりました。自転車サークルに入っているのですが、最後に集まったのは去年の1月です。その後、グループで出かけたことは一度もありません。またグループの友人と出かけられる日が待ち遠しいです。このような状況になって、人間関係の大切さを実感しています。

また、新しい習慣を行うこと（マスクの着用等）で世の中が変わったと毎日実感しています。アメリカではマスクをしている人は怪しい人と思われるため、マスクをつけるのを嫌がりますし、私も不自然に感じます。早く新型コロナウイルスが収まるといいですね。